

事務事業名 空家等対策事業

出力日：令和04年03月15日

キーコード：1852

施策：	08	くらしの安全対策の推進	財務コード	01020108-19-00
基本事業：	04	空家対策の推進	担当部	建設部
基本事業の成果指標	除却の必要性がある空家の解消件数（計画期間内累計） 空家総合相談窓口利用件数（計画期間内累計）		担当課	建築課
			担当係	空家対策・建築計画担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～		新規・継続	継続	会計区分			実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
市内の空家等 空家の所有者及び管理者等			平成27年度に空家実態調査、平成28年度は空家所有者意向調査アンケートを実施し、空家のデータベースを構築した。 平成29年度は、それらを基に「空家等対策の推進に関する特別措置法」（以下空家法）第6条に該当する空家等対策計画（案）を作成した。 平成30年度は、再度、空家実態調査、空家所有者意向調査アンケートを実施し、空家等対策計画（案）を修正した。 令和元年度は、空家等対策計画を取りまとめ、福岡県宅地建物取引業協会と「筑紫野市における空家等の適正な管理及び活用促進に関する協定書」を締結し、宅建協会筑紫支部内に空家総合相談窓口を開設した。 令和2年度は、相続人不存在の空家について、相続財産管理人制度の活用と空家の発生を予防するための空家発生予防セミナーの開催を実施する。また、空家総合相談窓口を利用してもらうためにH30空家調査で判明した空家及びその後市民等からの通報により判明した空家を再度調査し、継続して空家となっている空家所有者等に対し、啓発チラシ等を送付した。							
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			空家等対策の推進及び空家等の活用や適正管理の促進を図ることにより、市民が安全に、かつ、安心して暮らすことができる生活環境を確保するとともに、まちづくりの活動の活性化に寄与する。							
4. 成果（簡易評価は未記入）										
成果指標名称		単位	01年度 実績	02年度 実績	03年度 当初	04年度 要求	05年度 計画	06年度 計画	目標	
空家再調査率		%		100	100	100				
再調査でも空家であった空家に対する啓発チラシ等送付率		%		100	100	100				
5. コスト										
事業費		計	千円	341	632	199	1,229			
		国	千円			0	0			
		県	千円			0	0			
		地方債	千円			0	0			
		その他 一般	千円	341	632	199	1,229			
正職員人工数		人工	1.5	1.5	2					
正職員人件費		千円	12,098	12,044	15,842					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	12,439	12,676	16,041	1,229				
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）										
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない (停滞・低下)		令和2年度は、平成30年度の空家実態調査で判明した空家及び市民等からの通報により判明した空家662件に対し、再調査を実施し、495件が空家のままであった。 495件の空家に対し、啓発チラシ等を送付した。								
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）										
対象動向	増加	類似事業	なし		把握していない空家も相当数あると考えられるため、新たな空家の掘り起こし（把握）も必要となることから、令和3年度は水道関係情報等を利用し、新規空家の把握に努め、把握した空家に対する啓発を実施していく予定である。					
手段効率化余地	あり	コスト削減余地	なし							
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし							
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり							
成果向上余地	中程度									
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）						改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）										
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）										
備考・特記事項 or 進行管理欄										
平成27年5月に空家対策特別措置法が施行され、全国的に空家等が増加し、防災、衛生、景観等に深刻な影響を及ぼしている。本市でも、今後人口減少に伴う空家の増加が見込まれることから空家等対策を推進する。										